

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンラインアジア大会(動画審査) 総評 コンチェルト C 部門

●審査員 A

- ・ほとんどの皆さんはピアノ演奏を楽しんでいらっしゃるように思いました。その気持ちを忘れないでください。
- ・ショパンの音楽スタイルは独特で、コンチェルトの中にも、声楽的(=旋律的)な部分と華やかな(=超絶技巧的)部分があります。第 1 主題と第 2 主題の対比を意識しながらも、大規模で複雑な構成がひとつのまとまりとして聴こえるように演奏しなければなりません。
- ・もっとショパンのルバートに注意を払い、適切な方法で使えるように練習しましょう。
- ・のびのびと自然に演奏しましょう。もちろん、一定の範囲内という意味ですが、音楽に気持ちを委ねましょう。
- ・テンポの選択は、楽譜の指示や音楽表現に適したものであることが望ましいです。
- ・楽譜に書かれているすべての記号をよく読み、尊重しましょう。
- ・ピアノを弾く姿勢にも注意を払いましょう。音の質にも関わるからです。
- ・ペダルも大切な表現手段だと考えましょう。
- ・これからの音楽人生が充実されることを祈っております！

●審査員 B

音楽に対する皆さんの献身的な姿勢には、本当に頭が下がります。皆さんの人生の中で音楽がとても重要な部分を占めていることが伝わってきます。

日々の練習の中で、何が一番大切なのか、悩むこともあるでしょう。ピアノに向かう時間を最重要視することもあれば、いろいろな技術的な練習をすれば、早く上達するのではないかと考えることもあります。また、競争することが目標だと思う日もあります。これらはどれも正しく、また私たちの上達の助けとなるでしょう。しかし「自分は音楽が大好きだから音楽を演奏しているんだ！」という気持ちに勝るものはありません。これから先、ピアノの前に座って音楽を奏するとき音楽の持つ癒しの力や美しさを感じてほしいと思います。

●審査員 C

アジア大会に送られた音源のクオリティの高さに、心から拍手を送りたいと思います。ピアノ協奏曲を演奏することは、セカンドピアノとの共演であれ、オーケストラとの共演であれ、すべてのピアニストにとって常に特別な経験です。私たちはソリストですが、指揮者や伴奏者との協力が非常に重要であることを忘れてはいけません。ソロ演奏とは異なり、時間の扱い方を少し変えなければならないのです(特にフレーズの終わりです) ジェスチャーを用いてあらかじめフレーズの特徴を伝える指揮者に心を委ねましょう。難しいオーケストラのパートをプロフェッショナルに演奏してくださった伴奏者の皆さんを高く評価いたします。

●審査員 D

全楽章を通奏すること自体、かなりの力を必要とする。その意味で3名とも立派な演奏であった。その中で、流れを順に追うだけでなく、曲の全体像をしっかり把握し、自分自身の言葉として表現している演奏を評価の対象とした。

●審査員 E

それぞれ個性的な演奏で、テクニックも、音楽性も素晴らしかった。全楽章を演奏する場合、第2ピアノの重要性がとても大事であると感じた。特に音楽作りの上では、オーケストラと指揮者を兼ねるので、むしろ第2ピアノによって演奏が左右されると感じた。第2ピアノがあまり歌いすぎて、ソロが弾きにくい場合もあるので（2楽章などゆっくりした部分では）。ピアノとではなく、オーケストラと合わせると、また、演奏が違ってくる場合もあるので、色々と難しいと思いますが。

●審査員 F

コンチェルト部門に参加された皆様は、全体的に演奏経験がしっかりされた方が多かったと思います。オーケストラパートを聴き合わせるという事の重要なアンサンブル体験が出来ました。オーケストラパートを担当されました方の御協力の賜物と推察します。指揮者的役割も担い、テンポ感の安定にも繋がりました。表現への思いもより深まりました。なかなか体験しにくいコンチェルト部門に勇気を持って参加された事は今後の演奏技術の向上に役立つことでしょう。皆様の今後の成長が楽しみです。